

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

岡谷鋼機株式会社（証券コード: 7485）

【見直し変更】

長期発行体格付
格付の見直し

A-
安定的 → ポジティブ

■格付事由

- 1669年創業の老舗商社で、中部地区を中心に強固な事業基盤を有する。トヨタグループをはじめ自動車関連業界に多数の優良顧客を抱え、安定的な取引を行っている。主力の鉄鋼、産業資材のほか、情報・電機、生活産業などの事業を手掛けており、収益源の多角化が進んでいる。また、アジアや米州で拠点を拡充し、海外での取引を拡大している。
- 過去最高益の更新が続いており、業績は堅調である。とりわけ産業資材事業は、日系自動車メーカーが積極的な設備投資を行っていることや航空機向けビジネスの拡大を背景に、当面好調が続くとみられる。鉄鋼事業は海外市況の下落や輸出の減少などを受けて足元の業績は弱含んでいるが、中期的には国内の安定した鋼材需要を背景に業績は底堅く推移する見通しである。また、財務内容は良好な水準にあり、引き続き財務基盤の強化が進む見込みである。以上を踏まえ、格付を据え置き、見直しを安定的からポジティブに変更した。
- 20/2期経常利益は260億円（前期比4.0%増）と3期連続の増益を計画している。好調な産業資材事業が寄与するとみられる。21/2期以降は、海外需要の減速を要因とした鋼材事業の伸び悩みが続くことが懸念される。一方、トヨタグループ向けを中心に産業資材事業は引き続き活況が見込まれる。情報・電機事業も自動車向けを中心に底堅い収益力を維持するとみられ、全体では業績は安定的に推移する見通しである。
- 20/2期第2四半期末の自己資本比率は40.6%と、19/2期末の39.5%から上昇した。運転資金負担が軽減されたことにより、有利子負債が減少した。今後は利益蓄積によって自己資本の拡充が進むとみられる。また、大規模な投資などは予定されておらず、財務内容は緩やかに改善に向かうと考えられる。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

■格付対象

発行体：岡谷鋼機株式会社

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A-	ポジティブ

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年11月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「鉄鋼」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 岡谷鋼機株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル